



榊渕欽也氏のご逝去を悼む

植調協会第7代会長の榊渕欽也氏が4月23日急性心不全のため急逝されました。68才のご生涯でありました。4, 5年前から神経系由来の運動機能障害という難病に悩まされながらも、困難な頸椎の手術を進んで受けるなど克服に努められ、また最近では水稻の「品種名考」の編集に意欲を燃やしておられ、みんなが榊渕さんの一日も早い回復と一層の活躍を願っておりました。あまりにも突然で悼まれるご逝去であります。

榊渕さんは、農水省で水稻の品種育成のリーダーとして、また技術会議事務局長、農業研究センター所長として活躍されたあと、平成元年11月に植調協会の顧問に就任され、2年12月から5年12月まで協会会長の任に当たられました。榊渕さんにとって、除草剤・雑草防除の領域は必ずしもご専門ではありませんでしたが、研究者あるいは研究管理者としての長年の経験と実績を活かし、協会の事業の的確な展開に貢献されました。会長在任当時開発が進められていたジャンボ剤に深い理解を示して強力に後押しされたこと、APWSS、日中技術交流など海外との交流に尽力されたこと、また新しい技術開発方向として水稻の直播技術を品種・除草剤を含めた総合技術としての観点から指導されたこと等々、関係者の心に深く刻まれています。

これらのご功績は、ひとえに榊渕さんのたぐいまれなる判断力と大局観に因っています。おそらくこれは榊渕さんのこよなく愛した囲碁と共通し、またブリーダーとして畦畔から稲の系統を選抜する「電光のごとき一瞥」に由来するものでありましょう。いまは亡き榊渕さんの教えを、囲碁を愛したブリーダーの姿と重ねて、長く心に残したいと思います。心からご冥福をお祈りします。

(千坂英雄)